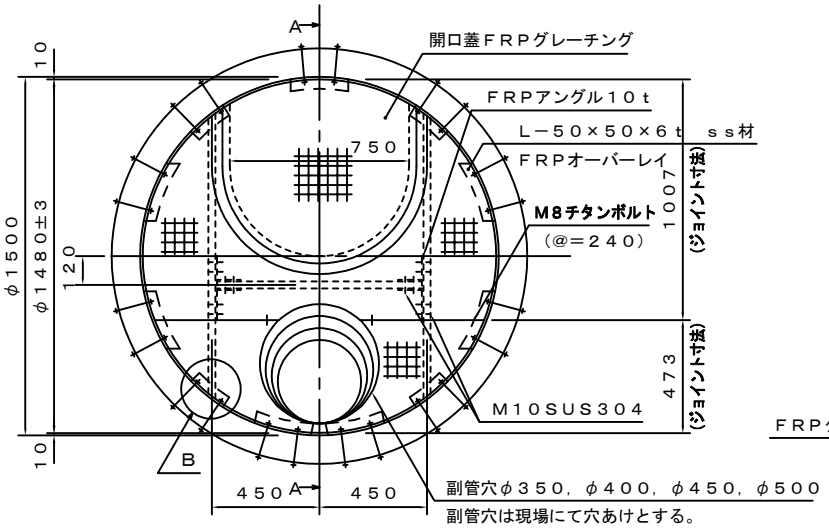
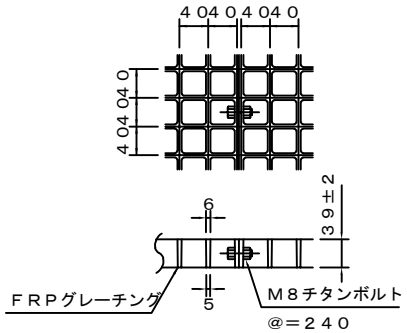
名　称	内部副管用中間スラブ標準図（２）
	副管径が３５０mm～５００mm

（単位：mm）

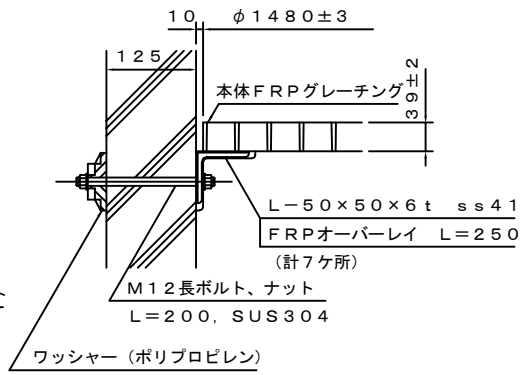
内部副管用中間スラブ詳細図　Ｓ＝１／３０



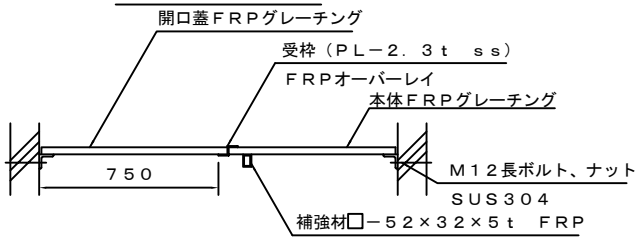
ジョイント詳細　Ｓ＝１／１０



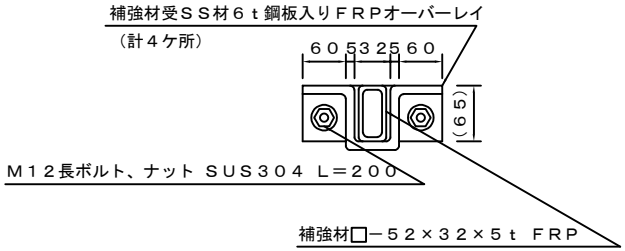
端部断面詳細図　Ｓ＝１／１０



Ａ－Ａ断面図



Ｂ部補強材受詳細図　Ｓ＝１／１０



【内部副管用中間スラブの設置基準】

１．本管の管底がインバート天端から２．０m程度以上の高さにある場合、原則、維持管理用として中間スラブを設けるものとする。

２．鉄蓋～中間スラブ～インバートの各間隔は５mを超えてはいけない。これを超える場合さらに中間スラブを設けるものとする。

３．中間スラブを設ける場合、仕切られた上下の室内は持管理の作業性を考慮し、高さ方向に最低２．０mの空間を設けるものとする。

４．中間スラブを設ける場合、マンホール径は１．５m以上とし、昇降口の径は７５ｃmとする。
また、中間スラブ、昇降口の材質等は、原則としてＦＲＰ製で格子状とし、耐荷重３．６ＫＮ／m²以上とする。

５．中間スラブの昇降口の設置は鉄蓋と同一方向とする。